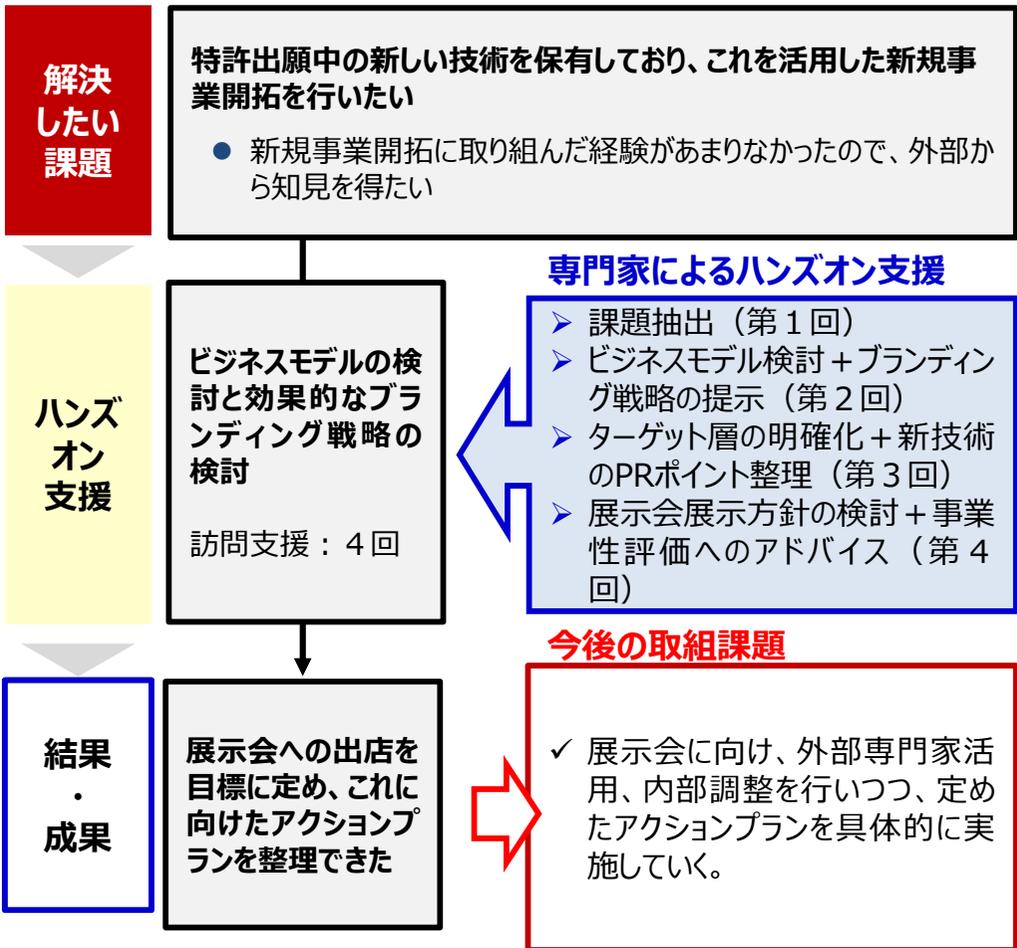


事例2：株式会社桑原（特許出願中の新技術を用いた新規事業開拓）

■ 知的財産経営実践の概要



■ 取組の詳細

- 課題や目指したい方向性を桑原自身で整理できるようにするため、「ビジネスモデルキャンバス」を書くよう勧めた。以降、これに基づいて支援の方向性を策定した。
- ヒアリングとともに、事務所に併設されている工場を見学した。この見学を通じて技術力の高さを共有するとともに、営業秘密管理についても課題があることが見出された。別途、営業秘密管理に関する支援が必要であると判断し、知財総合支援窓口へつなぐこととした。
- 新技術を応用した装置開発・生産体制を整えつつ、当該装置の市場性を判断するために、「プロトタイプを展示会にてお披露目する」方針が提案された。展示会で評判を呼ぶことができれば、市場性が確認できる事になり、これを用いて外部委託先候補を説得しやすくなると期待される。
- 展示会に向けて、新技術のネーミングやPRポイントの整理、展示会に向けアドバイスできる専門家の活用について検討した。特に、ネーミングに関しては、社内公募を行うなど会社として一丸となれるような仕組みを取り入れた。また、展示会に向けて必要になる専門家については、知財総合支援窓口を通じて、よろず支援拠点等とも連携し、紹介されることとなった。

■ 企業の声

今回の支援を通じて得られた大きな成果として、社内に知財意識を醸成出来たことが挙げられる。これまで、知財の活用に関して知見も経験もなかったが、外部専門家からの支援を受けたことで、活用の勘所が分かり「目からウロコが落ちた」ような感覚である。

また、新規事業開拓の手法に関して、これまで社内で検討してきたことに加えて外部専門家の知見が得られたことは貴重であった。頂いたアドバイスは新しい観点を多く含んでいた。さらに、他の支援機関とも連携しているため、本ハンズオン支援事業の終了後も引き続いて外部の支援を受けながら本件に取り掛かる事ができるのはありがたい。

■ 企業概要

業種	反物・衣料・雑貨の検品、修整業				
住所	愛知県一宮市	URL	https://www.kuwatechno.jp/		
設立	1958年11月	従業員数	250人	資本金	1,000万円

■ 支援専門家（回数）

支援コーディネータ
弁理士（4）

同行専門家
中小企業診断士（3）